

4 パラスポーツ

(1) 各種障がい者スポーツ大会の開催

各種大会の開催を通じて、障がい者の方のスポーツ機会の創出を図った。

大会名	開催場所	実施時期	参加人数
第20回長野車いすマラソン大会	長野市内	4月21日(日)	37
地区障がい者スポーツ大会	県立武道館ほか	5月～6月(※)	961
地区精神障がい者スポーツ大会	伊那市、長野市	6月	67
第24回長野県障がい者スポーツ大会	松本市周辺ほか	9月	648

※ 長野圏域は開催中止

(2) パラウェアNAGANOプロジェクトの推進

障がいの有無に関わらず、スポーツを通じた共生社会の実現のため、日本財団パラスポーツセンター、県内スポーツ関係団体等と連携した取組を実施した。

区分	実績
ボッチャ競技大会	地区予選及び県大会を開催。122チーム535人が参加。
教育プログラム「パラ学」	パラスポーツ体験型授業を161クラス4,313人が受講。
総合型地域スポーツクラブへの支援	障がいのある方が参加するプログラムへの支援に加えて、関係機関等との連携強化への取組を実施。

(3) パラスポーツ指導員の養成

障がい者スポーツの普及、きっかけづくりを促進するため、専門的な知識や技能を身につけた指導員の養成を実施し、令和6年度においては24人の指導員を養成した。

(4) 競技力向上事業

2028年に本県で開催が予定されている信州やまなみ全障スポに向けた選手の発掘・競技力向上、競技団体の強化支援を通じて、本大会だけでなく、その後の持続可能な障がい者スポーツの振興(裾野拡大・普及促進等)への取組を実施した。

事業名	事業費	内容
みらいアスリート育成支援事業	13,902千円	選手発掘・競技力向上、競技団体の活動強化のため、障がい者スポーツに精通した「みらいアスリートディレクター」を設置。
パラアスリート育成支援事業	3,274千円	パラリンピックやデフリンピック等を目指す有望選手を指定し、指定選手に対し、合宿・練習会・大会等への参加経費、競技用具の購入経費等の補助を実施。
信州やまなみ全障スポに向けた競技力向上事業	3,600千円	全障スポ競技団体に対し、選手育成(講習会・練習会・記録会、医科学サポート等)及び大会開催等に係る経費の補助を実施

障がい者スポーツ 競技団体強化支援 事業	1,637千円	競技団体に対し、大会の開催経費や競技団体の行う練習 会経費等の補助を実施。
----------------------------	---------	--

(5) 長野県障がい者スポーツ協会業務に係る支援

障がい者の健康の増進、生活の質の向上、社会参加の促進を支援し、県民の障がい者に対する一層の理解とノーマライゼーションの確立を目的として活動する公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会の行う業務に対し、助成等を実施した。

ア 全国障害者スポーツ大会への選手派遣

以下の大会において、選手団を派遣

- a 期 間 令和6年10月26日(土)～10月28日(月)
- b 開催場所 佐賀県 佐賀市他
- c 県選手団 総勢85名(役員含む)
- d 競技種目
 - 個人競技 陸上競技(身体・知的)、水泳(身体・知的)、卓球(身体・知的・精神)、フライングディスク(身体・知的)、アーチェリー(身体)、ボウリング(知的)、ボッチャ(身体)
 - 団体競技 バasketボール(知的)、車いすBasketボール(身体)、ソフトボール(知的)、グランドソフトボール(身体)、フットソフトボール(知的)、バレーボール(身体、知的、精神)、サッカー(知的)

イ 全国障害者スポーツ大会等の団体競技地区予選会への派遣費の補助

全障スポ等の全国規模の大会に出場するための団体競技の地区(ブロック)予選会への派遣経費について、競技団体に対する補助を実施し、9団体を派遣した。

ウ 障がい者スポーツ地域コーディネーターの活動

障がい者スポーツの振興・共生社会づくり促進のため、「地域コーディネーター」を設置し、障がい者福祉施設訪問等による情報把握、体験会の実施、障がい者受け入れ団体の開拓等を通じて、地域における持続可能な障がい者スポーツの推進体制の整備に寄与した。

活動内容	実績(件)
企業・学校等への訪問による選手情報等の収集	30
障がい者スポーツに関する相談	119
講師派遣(体験会等)	30